

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E140A007		学校教育におけるICT活用(ICT utilization of school education)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	2・3・4	教育学部			氏名 市原靖士, 中原久志 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp(中原) 内線 7590(中原)											
授業の概要	本講義では、ICT活用に関する実践的指導力を身に付けることを目的とし、学校現場におけるICTの実態(タブレット端末、電子黒板、デジタル教科書等)を踏まえ、児童・生徒の情意を喚起するICT活用の方法や各教科の特性に応じた活用方法について概観し、試行的な授業づくりを通して「学びを深めるICT活用」を考察する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 教育現場におけるICT活用について基礎的な知識・技能を習得する																	
目標2 教材制作実習を通して実践的指導力を身につける																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション(担当:中原)																	
2 ICT活用教育の考え方(担当:中原)																	
3 ICT機器の特徴と効果的な使用方法(担当:中原)																	
4 ICTを活用した授業実践の事例検討(担当:中原)																	
5 教科・単元に応じたICT活用(担当:中原)																	
6 ICT教材に必要な要件の検討、活動システムモデルとICT活用形態(担当:中原)																	
7 校務処理システム:マクロVBA(担当:中原)																	
8 プレゼンテーションソフトの活用(担当:市原)																	
9 プレゼンテーションソフトを用いた教材開発実習:構想(担当:市原)																	
10 プレゼンテーションソフトを用いた教材開発実習:作成(担当:市原)																	
11 開発した教材を用いたマイクロティーチング(1)(担当:市原)																	
12 開発した教材を用いたマイクロティーチング(2)(担当:市原)																	
13 教材の相互評価と改善(担当:市原)																	
14 SNSと情報モラル教育(担当:市原)																	
15 学校におけるセキュリティとアダプティブラーニング(担当:中原)																	
ラ イ ク ニ テ ン イ グ	A:知識の定着・確認	実技, ディスカッション, 評価					工 夫	そ の 他 の									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前配布資料を熟読する【15H】															
	事後学修	課題レポートを作成する【15H】															
教科書	随時プリント資料を配付する																
参考書	文部科学省:教育の情報化, http://jouhouka.mext.go.jp/																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	学習への取り組み状況	20%															
	製作物	40%															
	定期考査	40%															
注意事項	受講制限:20名																
備考																	
リンク	URL																